

特250

449

836

97

雄渾なる大増産と大企業體の挺身

山口喜三郎

納本



始

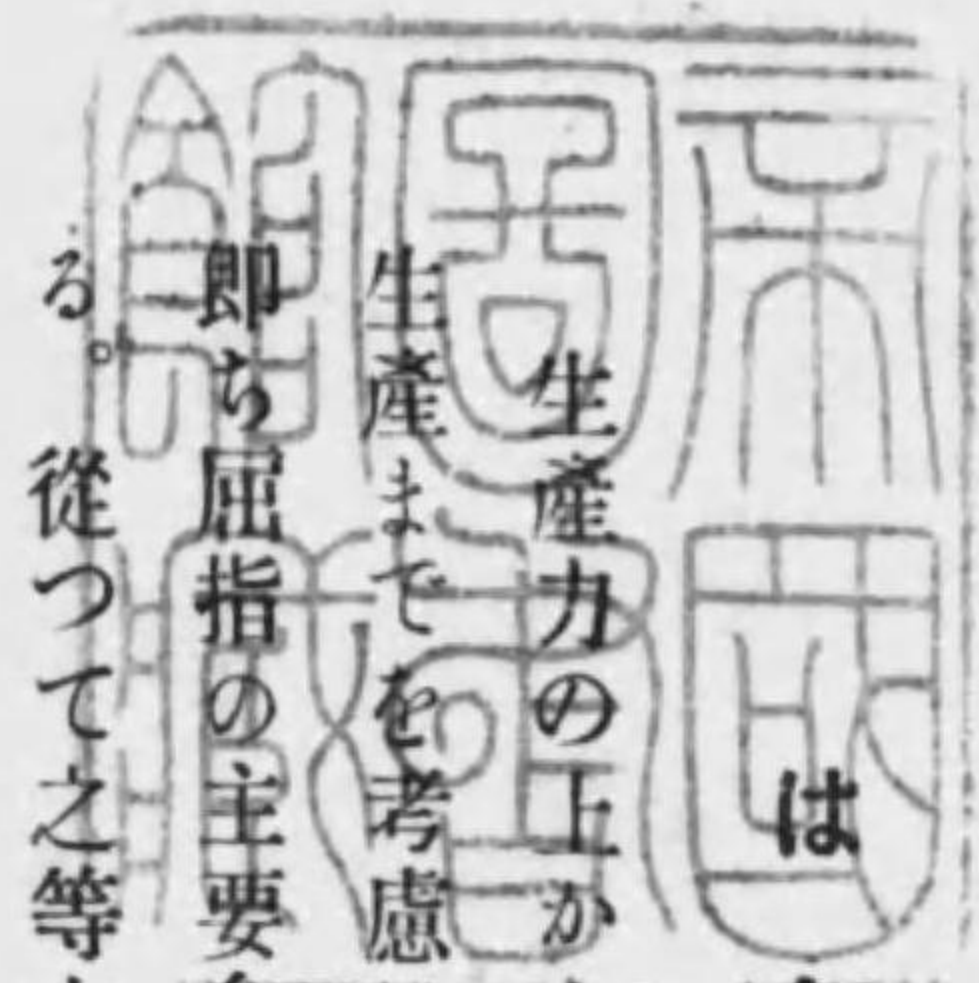


特 250
836

雄渾なる大增産と大企業體の挺身

山口 喜三郎

はしがき



生産力の上から見て、常に完成品のみならずその部分品及び原料品の生産までを考慮に加ふるときは、わが國に於ても、極めて少數の大企業體の主要會社が軍需生産に占める生産割合は甚だ大なるものがある。従つて之等大企業會社をして遺憾なくその全機能を發揮せしめ、一意専心生産に向つて精根を傾注せしめることが大增産完成の實績を擧げ、るに絶対必要であつて、更めて海外大工業國の實例を擧げるまでもない。然るに、軍需會社法その他の生産に關する統制法規の多くは、普通多

數の企業を律することを目標として制定せられたるものなるが故に、監督當事者の意見等により、往々にして之等大企業會社の首尾一貫せる能率的操業を分斷せられ、爲に全體としては却つて生産の低下を招來せるの事實なきを保し難い。

現下の重要な時期に當り、わが國に於ても亦、重要工業については、この際直ちに陸、海、軍需當局者之等大企業會社との間に特別なる組織を設け、他の多數企業とは分離したる施策を講じて、一面その全機能を發揮せしめ全力を生産増強に傾注せしめると共に、他面多數同業者と共に總生産力を増大せしめる方策を思ひ切つて敏速果敢に斷行し、以て現下一刻を争ふこの重大なる時期に於て、わが生産の態勢を有力に變相せしむべきである。勿論之れがために全産業界に著しき變革を齎すが如きは極力之れを回避すべきであり、又その經理等につき弊害なきを期す

るために、別に官民の協同研究による簡明なる規定の設置等も然るべきものご考へる。

以上の趣旨に基き、七月二十六日日本産業經濟紙の需めに應じて寄せたる私見を、茲に再録して御清鑑に供する次第である。(昭和十九年八月七日)

新内閣に望む

重大なる時局に際して舉國一致の強力なる陣容の下に、今回小磯大將を首班とする新内閣の成立を見たが、その基本方針については首相始め各閣僚から夫々既に發表せられた。誠に明瞭で且つ力強く感ずる次第である。新内閣に大いに期待を持つと共に、この機會に於いて苛烈なる決戦下、わが軍需會社をして各種兵器の大増産を飛躍的に實現せしめるための眞に實効ある方法について、率直に私見を述べて見たいと考へる。

(一)

政府はこの際思ひきつて全國より主要會社を選定し、大生産に協力せしむべし

まづ第一に私はわが國に於ける各生産方面の代表的な大工場にして、

廣く原料より製品に至るまでの一貫的な生産施設をなるべく有し、且つその運営に就て多年の實力と經驗とを有する比較的少數の大會社を選んで、陸、海、軍需の當局者と共に官民の協議機關を設け、心から協力立案せしめて直ちに大いに生産力を擧げることには突進しなければならぬと信ずるものである。この考へ方は多年に亘つて研鑽を積んだ實力ある専門家の極めて豊富なる知識經驗を實際に大いに活用して、刻下の大増産の急速なる實現を斷行せしめる點に存するのであつて、大會社の利益を意圖するものではない。従つて、このために生ずることあるべき主要會社の利益金の處分等の問題に關しては、別に官民の間に公正なる方法を攻究し、必要なれば之に社會政策的の方途を加味してその研究に一任すべきである。

(二)

主要會社はその全力を盡して喫緊なる大增産に當ると共に、政府を助け雄渾なる生産方策を決定し、速かに之を實行すべし

思ふに、わが國民の忠君愛國の大精神は誠に偉大にして萬邦無比なるは、敵米英にごつて容易ならざる脅威である。更に又地の利を得て居るわが國に侵攻してくるためには、距離の問題も大いに考慮を加へざるを得ない状態にある。従つてわれ／＼は妄りに敵の鐵量を恐れるべきでない。こは云へ、固より私は軍事については何等の知識をも有せざる門外漢であるから、この方面についての所見は控へるとしても、産業人の立場よりすれば質には質を以て戦ひ、量には量を以て戦ふ覺悟と用意を輕視すべきでないと信ずる。従つて現在の緊急時に應ずる諸々の必要なる施策は、飽くまでその實行に努力すること共に、別に遠大にして雄渾なる生産上の計畫を大膽に實行する案を樹立すべき時と考察する。敵は頽勢

挽回を策して數理に根據を置いた計畫を以て反攻して來てゐるので、吾人も亦この點決して閑却してはならぬ。須く必ず勝つの計畫を推進してゆく大努力を盡すべきである。

從來わが國に於いても事業上遠大雄偉なる生産の事蹟は少からず持つてゐるが、近來の經濟統制の下にあつては兎角素人判りのする目先の問題に力が注がれ、少し専門的で遠大雄偉なことは實現が容易でない懼れがある。しかるに戦争の現段階は近視眼的なやり方を出来るだけ排除してあらゆる方面の力を動員し、以て敵を壓倒するここが必要であらうと思ふ。經驗と實力と知識とを持つてゐるものは、その一切を傾注して政府と同心一體となり、大いに戦力を増大せしめるやうに死力をつくさねばならぬ。

後進會社の教育の如きは望まじきことなれども、緊急生産及び設計以外に餘裕なきこの際は、寧ろこれ等諸工場は部品生産の

協力會社とすべし

今日主要會社がわが産業界に於いて主動力を有する所以のものは、實に數十年間の試煉努力を積んでかち得たる知識経験を基礎とするからである。然るに率然としてこれ等主要會社の知識経験を、單に時局を見て始めたやうな經歷淺き後進會社に簡單に移し得るを考へ、又之を實行せんとするが如きは却つて勞多くして効少く、現下の急速なる決戦的大増産の要請に副はないものと信ずる。優良製品的大量生産は工場と技術と運営とが時間といふ燃料によつて渾然一體となり、有機的に活動して始めて實現するものであつて、大會社の數人の技師や數十人の工員のみを他工場に派遣して見ても、所期の生産を擧げ得ないのは當然といはねば

ならない。しかも大會社の有機體はその爲に重要な人員を失ひ、生産に重大なる悪影響を與へ、共々に現下の國家要請に即應し得ない結果を招來するのである。しかも今日の大工場はその全力を緊急生産及び設計等に傾注しても、尙及ばざる重大時期に當面して居るのであつて、後進會社に對して速成教育を施したりする餘裕のある段階ではないのである。若しこれ等の工場教育を必要とするならば、それは擧げて前述の陸、海、軍需當局と大會社との協議機關の決定に一任させて然るべきであらう。思ふに、後進工場教育のことは藉すに時を以てすれば無論望まじきことではあるが、迫り來る敵の量に對し量を以て戦ひ、質に對し質を以て戦はんとして、あるこの際に於いては、これ等主要兵器工場は先づその全力を擧げて、目前必要の生産と遠大雄渾なる生産計畫とに當ることが絶対に必要であるが故に、他工場教育の如きはこの際は次善の問題とせ

ざるを得ない。但しその能力は極力之を利用することが總力のために必要なる今日のここなれば、これ等に就ては簡單なる指導を以て足りる部分に限つては、勿論之を指導するここが必要である。

これ等の點に就ては、各統制會並に工業會等と主要會社とが十分連繫して、事業上の協力を考慮しつゝ運ぶべきである。その大體の方針としては、場合によつてはこれ等の後進工場は部品工場として働かせることとし、又場合によつては主要會社が政府と協議して各地域の後進工場の一部に對しても、必要なる主要會社の分工場を設け主要半成材料を之に送り、若しくは之を加工して敏速に製品の組立完成を期することゝすべきであらう。

要するに、量に於いて質に於いて専門的知識と多年の苦勞を以てしても、尙容易ならざる大增産に専念邁進しつゝある大工場に對して、工業

知識を有せざるものが常識を以て妄りに彼此指圖をするやうなことがあつてはならぬ。専門外のもものが大增産の實行を指圖する如きことがあつては、統制經濟の運営を却つて弱める結果となる恐れがある。獨逸政府がクルツプ、イーゲー、ジーマンス等の大會社と直接協力して、獨逸の工業をして苦しい中に盛大なる生産を實現してゐることは、この際われわれの特に銘記すべきところである。

以上の如き大增産の施策について實行の指圖を必要とするならば、かかる指圖はやはり前述の官民の協議機關の決定によつて決すべきであつて、若しこの方策によつて生ずることあるべき中小工場の運営問題等については、社會政策的措置を別途に實施すべきであらう。緊迫せる今日の時局に於いては、當面の敵米英破摧のための大增産方策と社會政策的措置とは自ら觀點を變へて實施すべきであつて、同一の考へ方に立脚し

て處置することは かへつて生産を弱める結果となる恐れがある。
 今や我國は元寇以來の大敵を迎へて眞に皇國隆替の重大時期にある。
 今にしてなほ敵米英を撃擢すべき態勢を成し遂げ得ぬ道理があらうか。
 官民一體となつて生かすべき經驗を生かし、用ふべき知識を用ひ、實力
 を餘すところなく發揮し、雄渾なる計畫の下に大膽なる施策を實施すれ
 ば、我々はまだく、戦力昂揚の餘地は尠しとしないと確信する次第であ
 る。(終)

449
97

昭和十九年八月十六日 印刷
 昭和十九年八月廿一日 發行 (非賣品)
 編輯兼 發行所 東京都麹町區丸ノ内日本經濟聯盟會
 能 美 一 夫
 東京都麹町區丸ノ内二丁目二番地
 日本經濟聯盟會
 日本出版會 會員番號二二〇七九
 電話丸ノ内(23)三六三二・三六三三
 (四六四九・六四二六)
 東京都芝區川村町三丁目七番地
 印刷者 升 辰 男
 電話芝(43)三六一二番
 (東京 四 四 二)
 東京都芝區田村町三丁目七番地
 印刷所 升 活 版 所

終

